

第 6 章 自然科学分析

1 九郎遺跡・小ヶ倉遺跡・入道遺跡出土縄文時代資料の放射性炭素年代測定

パレオ・ラボAMS年代測定グループ
伊藤茂・尾寄大真・丹生越子・廣田正史・小林紘一
Zaur Lomtadze・Ineza Jorjoliani・中村賢太郎

1) はじめに

佐賀県佐賀市に位置する九郎遺跡、小ヶ倉遺跡、入道遺跡より検出された試料について、加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。

2) 試料と方法

測定試料の情報、調製データは表 19 のとおりである。

九郎遺跡の試料は、遺物包含層から出土した土器に付着した炭化物 6 点である。付着炭化物が採取された土器の内訳は、縄文時代早期中葉の押型文土器が 2 点（PLD-15533・15534）、縄文時代前期前半の轟 B 式土器が 2 点（PLD-15535・15536）、縄文時代中期前半の船元式土器が 1 点（PLD-15537）、縄文時代早期後葉の塞ノ神 B 式土器が 1 点（PLD-15538）である。

小ヶ倉遺跡の試料は 1 点で、包含層から出土した縄文時代早期前葉の刺突文土器に付着した炭化物である。

入道遺跡の試料は 1 点で、縄文時代早期前葉の可能性がある集石（SX1001）から出土した炭化材である。

試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ¹⁴C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、¹⁴C 年代、暦年代を算出した。

表 19 測定試料及び処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-15533	遺跡名：九郎遺跡 1B 区 遺物 No.：10001634 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（押型文） 部位：胴部内面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15534	遺跡名：九郎遺跡 1B 区 遺物 No.：10001616 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（押型文） 部位：口縁部内面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15535	遺跡名：九郎遺跡 1B 区 遺物 No.：10001705 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（轟 B 式） 部位：口縁部外面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15536	遺跡名：九郎遺跡 1B 区 遺物 No.：10001707 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（轟 B 式） 部位：胴部外面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15537	遺跡名：九郎遺跡 1B 区 遺物 No.：10002429 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（船元式） 部位：胴部外面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15538	遺跡名：九郎遺跡 1C 区 遺物 No.：10001747 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（塞ノ神 B 式） 部位：胴部外面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15539	遺跡名：小ヶ倉遺跡 A 区 遺物 No.：09003534 層位：包含層	試料の種類：土器付着物（刺突文） 部位：胴部外面 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）
PLD-15540	遺跡名：入道遺跡 1 区 遺構：SX1001 集石	試料の種類：炭化材 試料の性状：部位不明 状態：dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N, 水酸化ナトリウム：1N, 塩酸：1.2N）

3) 結果

表 20 に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ¹⁴C 年代、¹⁴C 年代を暦年代に較正した年代範囲を、図

164 に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下1桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.1 (較正曲線データ: Intcal09) を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95.4% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

表 20 放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-15533	-26.33 $\pm$ 0.15	8745 $\pm$ 30	8745 $\pm$ 30	7933BC(0.6%)7930BC 7908BC(0.8%)7905BC 7827BC(66.8%)7679BC	7941BC(94.7%)7648BC 7621BC(0.7%)7615BC
PLD-15534	-25.32 $\pm$ 0.11	8762 $\pm$ 30	8760 $\pm$ 30	7937BC(4.1%)7926BC 7917BC(7.1%)7898BC 7867BC(2.2%)7860BC 7842BC(54.8%)7736BC	7955BC(95.4%)7677BC
PLD-15535	-25.00 $\pm$ 0.17	5905 $\pm$ 25	5905 $\pm$ 25	4796BC(68.2%)4726BC	4837BC(95.4%)4718BC
PLD-15536	-25.75 $\pm$ 0.12	5907 $\pm$ 25	5905 $\pm$ 25	4797BC(68.2%)4727BC	4837BC(95.4%)4720BC
PLD-15537	-26.53 $\pm$ 0.14	4517 $\pm$ 23	4515 $\pm$ 25	3348BC(12.3%)3323BC 3272BC(0.9%)3269BC 3235BC(31.3%)3172BC 3162BC(23.7%)3117BC	3352BC(29.8%)3264BC 3241BC(65.6%)3103BC
PLD-15538	-26.62 $\pm$ 0.14	7001 $\pm$ 28	7000 $\pm$ 30	5973BC(16.9%)5953BC 5914BC(36.9%)5871BC 5865BC(14.4%)5846BC	5984BC(25.8%)5939BC 5932BC(69.6%)5809BC
PLD-15539	-25.85 $\pm$ 0.12	9566 $\pm$ 31	9565 $\pm$ 30	9122BC(41.4%)9002BC 8919BC(12.0%)8885BC 8877BC(14.8%)8832BC	9140BC(51.3%)8967BC 8956BC(44.1%)8790BC
PLD-15540	-27.73 $\pm$ 0.12	8449 $\pm$ 30	8450 $\pm$ 30	7569BC(68.2%)7512BC	7577BC(95.4%)7487BC

4) 考察

九郎遺跡について述べると、押型文土器付着炭化物のうち、図 80-174 (PLD-15533) は、 ^{14}C 年代が 8745 $\pm$ 30yrBP、 1σ 暦年代範囲が 7933-7930calBC(0.6%)、7908-7905calBC(0.8%) および 7827-7679calBC(66.8%)、 2σ 暦年代範囲が 7941-7648calBC(94.7%) および 7621-7615calBC(0.7%) であった。図 81-182 (PLD-15534) は、 ^{14}C 年代が 8760 $\pm$ 30yrBP、 1σ 暦年代範囲が 7937-7926calBC(4.1%)、7917-7898calBC(7.1%)、7867-7860calBC(2.2%) および 7842-7736calBC(54.8%)、 2σ 暦年代範囲が 7955-7677calBC(95.4%) であった。中島宏による樋沢式系押型文土器に伴う ^{14}C 年代の集成 (中島, 2008) では 10700 $\pm$ 160yrBP が最も古く、7620 $\pm$ 120yrBP が最も新しい。兵頭勲による黄島式土器に伴う ^{14}C 年代の集成 (兵頭, 2008) では 8560 $\pm$ 890yrBP、8400 $\pm$ 350yrBP、8200 $\pm$ 150yrBP の ^{14}C 年代が示されている。今回の 2 点の結果は従来得られている ^{14}C 年代と矛盾しない。

轟 B 式土器付着炭化物のうち、図 84-214 (PLD-15535) は、 ^{14}C 年代が $5905 \pm 25\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $4796\text{--}4726\text{calBC}$ (68.2%)、 2σ 暦年代範囲が $4837\text{--}4718\text{calBC}$ (95.4%) であった。図 85-246 (PLD-15536) は、 ^{14}C 年代が $5905 \pm 25\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $4797\text{--}4727\text{calBC}$ (68.2%)、 2σ 暦年代範囲が $4837\text{--}4720\text{calBC}$ (95.4%) であった。栗畑光博による轟式土器に伴う ^{14}C 年代の集成 (栗畑, 2008) では、轟 B 式に伴う ^{14}C 年代のうち最も古いのが $6170 \pm 50\text{yrBP}$ 、最も新しいのが $5160 \pm 20\text{yrBP}$ である。今回の 2 点の結果は従来得られている ^{14}C 年代と矛盾しない。

船元式土器 (図 86-253) 付着炭化物 (PLD-15537) は、 ^{14}C 年代が $4515 \pm 25\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $3348\text{--}3323\text{calBC}$ (12.3%)、 $3272\text{--}3269\text{calBC}$ (0.9%)、 $3235\text{--}3172\text{calBC}$ (31.3%) および $3162\text{--}3117\text{calBC}$ (23.7%)、 2σ 暦年代範囲が $3352\text{--}3264\text{calBC}$ (29.8%) および $3241\text{--}3103\text{calBC}$ (65.6%) であった。泉拓良による船元式土器に伴う ^{14}C 年代の集成 (泉, 2008) では、最も古いのが $5080 \pm 80\text{yrBP}$ 、最も新しいのが $4090 \pm 70\text{yrBP}$ である。今回の結果は従来得られている ^{14}C 年代と矛盾しない。

塞ノ神 B 式土器 (図 114-593) 付着炭化物 (PLD-15538) は、 ^{14}C 年代が $7000 \pm 30\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $5973\text{--}5953\text{calBC}$ (16.9%)、 $5914\text{--}5871\text{calBC}$ (36.9%) および $5865\text{--}5846\text{calBC}$ (14.4%)、 2σ 暦年代範囲が $5984\text{--}5939\text{calBC}$ (25.8%) および $5932\text{--}5809\text{calBC}$ (69.6%) であった。八木澤一郎による塞ノ神式土器に伴う ^{14}C 年代の集成 (八木澤, 2008) では、塞ノ神式 B 式土器に伴う ^{14}C 年代として $7450 \pm 35\text{yrBP}$ 、 $7100 \pm 40\text{yrBP}$ 、 $6976 \pm 36\text{yrBP}$ が示されている。今回の結果は従来得られている ^{14}C 年代と矛盾しない。

小ヶ倉遺跡の刺突文土器 (図 13- 1) 付着炭化物 (PLD-15539) は、 ^{14}C 年代が $9565 \pm 30\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $9122\text{--}9002\text{calBC}$ (41.4%)、 $8919\text{--}8885\text{calBC}$ (12.0%) および $8877\text{--}8832\text{calBC}$ (14.8%)、 2σ 暦年代範囲が $9140\text{--}8967\text{calBC}$ (51.3%) および $8956\text{--}8790\text{calBC}$ (44.1%) であった。これは、小林謙一による縄文土器編年と暦年較正結果との対応関係 (小林, 2008) を参照すると、縄文時代早期前葉に相当する暦年代範囲であり、縄文時代早期前葉とされる刺突文土器の年代として矛盾はしない。

入道遺跡の集石 (SX1001) から出土した炭化材 (PLD-15540) は、 ^{14}C 年代が $8450 \pm 30\text{yrBP}$ 、 1σ 暦年代範囲が $7569\text{--}7512\text{calBC}$ (68.2%)、 2σ 暦年代範囲が $7577\text{--}7487\text{calBC}$ (95.4%) であった。小林 (2008) を参照すると、縄文時代早期中葉に相当する。

参考文献

- Bronk Ramsey, C. (1995) Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program. Radiocarbon, 37, 425-430.
- Bronk Ramsey, C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal. Radiocarbon, 43, 355-363.
- 兵頭勲 (2008) 押型文系土器 (黄島式土器). 総覧縄文土器, 162-167, アム・プロモーション.
- 泉拓良 (2008) 鷹島式・船元式・里木Ⅱ式土器. 総覧縄文土器, 502-509, アム・プロモーション.
- 小林謙一 (2008) 縄文時代の暦年代. 縄文時代の考古学 2- 歴史のものさし, 257-269, 同成社.
- 栗畑光博 (2008) 轟式土器. 総覧縄文土器, 328-335, アム・プロモーション.
- 中島宏 (2008) 押型文土器 (沢式・樋沢式・細久保式土器). 総覧縄文土器, 130-137, アム・プロモーション.
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の ^{14}C 年代, 3-20.
- Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.
- 八木澤一郎 (2008) 平塚式・塞ノ神式土器. 総覧縄文土器, 194-201, アム・プロモーション.

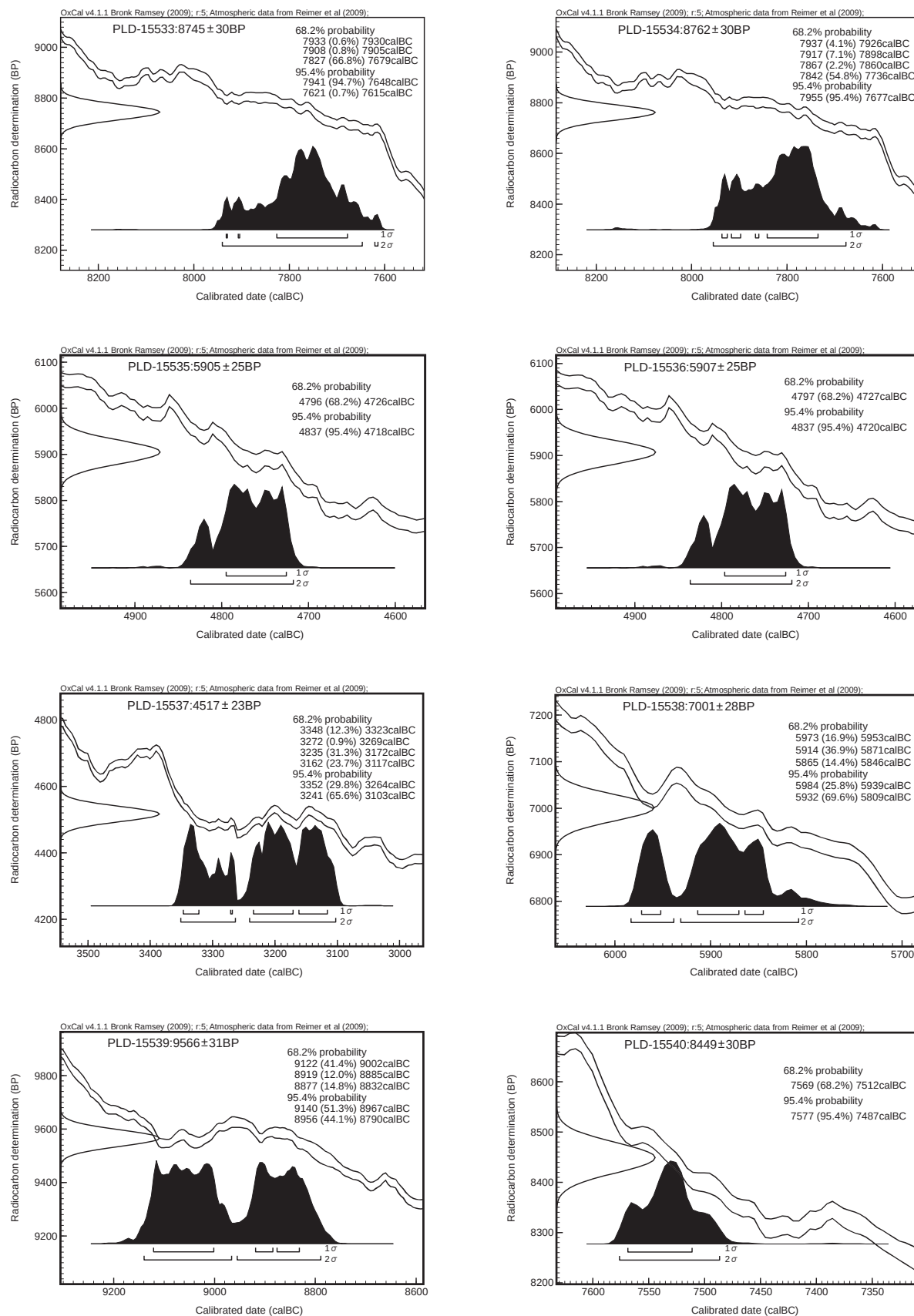
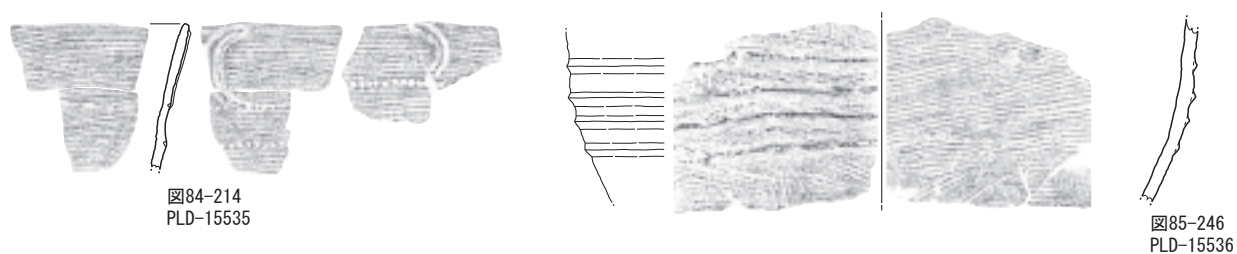
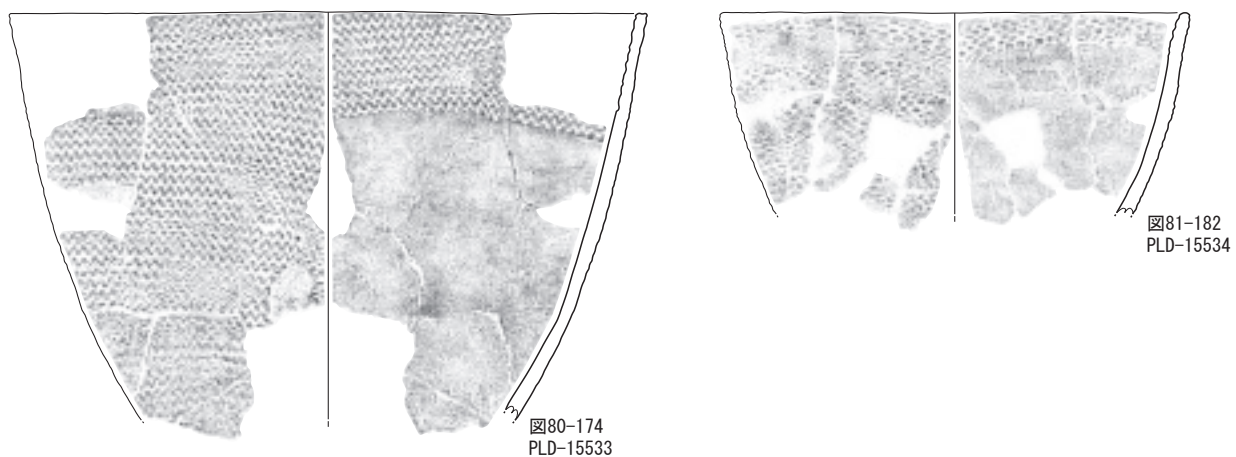
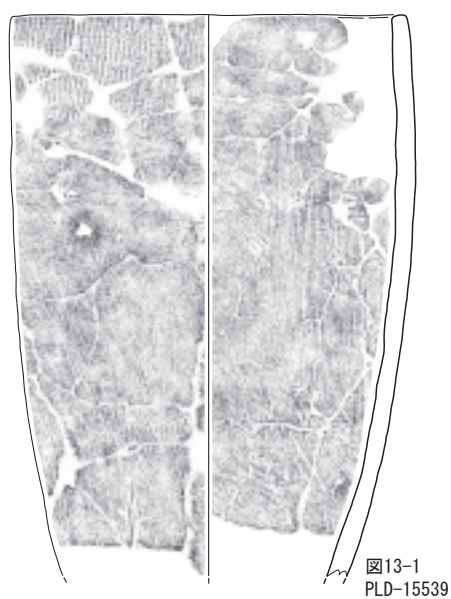


圖 164 曆年較正結果

九郎遺跡



小ヶ倉遺跡



0 10cm

図 165 放射性炭素年代測定資料を採集した土器 (1/4)

写真図版



嘉瀬川ダム予定地周辺（真俯瞰合成）（平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



小ヶ倉遺跡遠景（東から） （平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



調査前風景（西から）



調査前風景（南西から）



A区 円筒形刺突文土器出土状況（北東から）



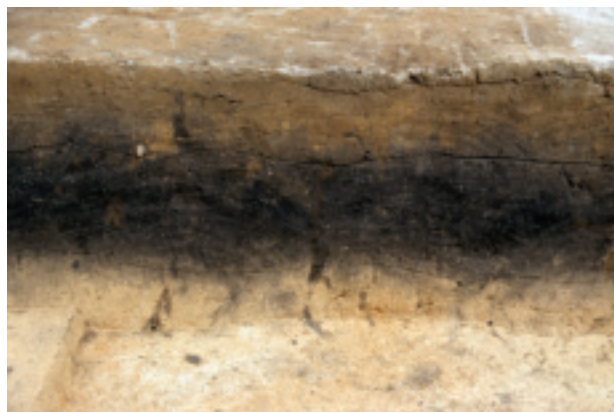
C区 石槨出土状況（南から）



C区 完掘状況（西から）



A区 b層検出状況（北西から）



A区 土層（北西から）



A区 円筒形刺突文土器出土状況（南西から）



A区 円筒形刺突文土器出土状況（北東から）



A区 押型文土器出土状況



A区 完掘状況（北西から）



E区 土層（北西から）



E区 土層（西から）



E区 完掘状況（北西から）



E区 作業状況（東から）



F区 土層（北から）



F区 完掘状況（南東から）



F区 東半部完掘状況（南西から）



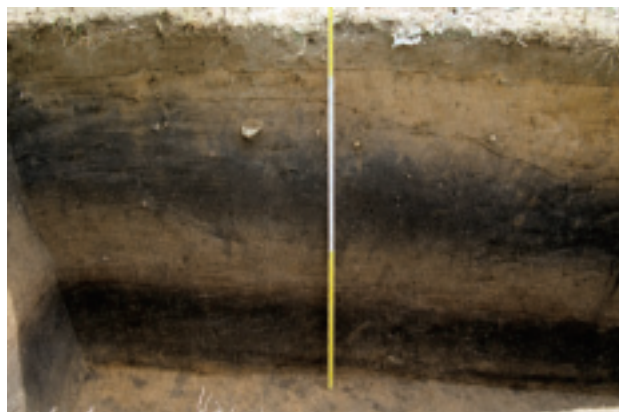
B区 異形石器出土状況



B区 土層（北西から）



B区 完掘状況（南東から）



C区 土層（西から）



C区 石槍・石鏃出土状況



C区 石槍出土状況と土層（南から）



C区 完掘状況（南から）



G区 全景（東から）



G区 土層（北から）



G区 台石出土状況



G区 石斧出土状況



出土遺物 1



出土遺物 2



出土遺物 3



出土遺物 4



出土遺物 5



出土遺物 6



出土遺物 7



出土遺物 8



入道遺跡遠景（南から） （平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



1区 遠景（南西から）



1区 完掘状況（北から）



1区 SX1011 検出状況（南から）



1区 遠景（北東から）



1区 土層（北西から）



1区 遺物出土状況（北東から）



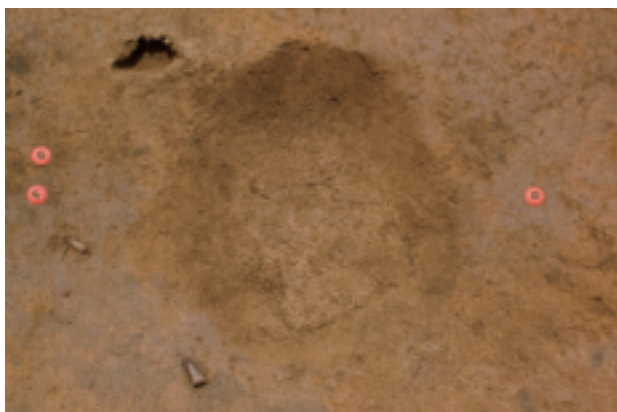
1区 石鏃出土状況



1区 SX1011（南から）



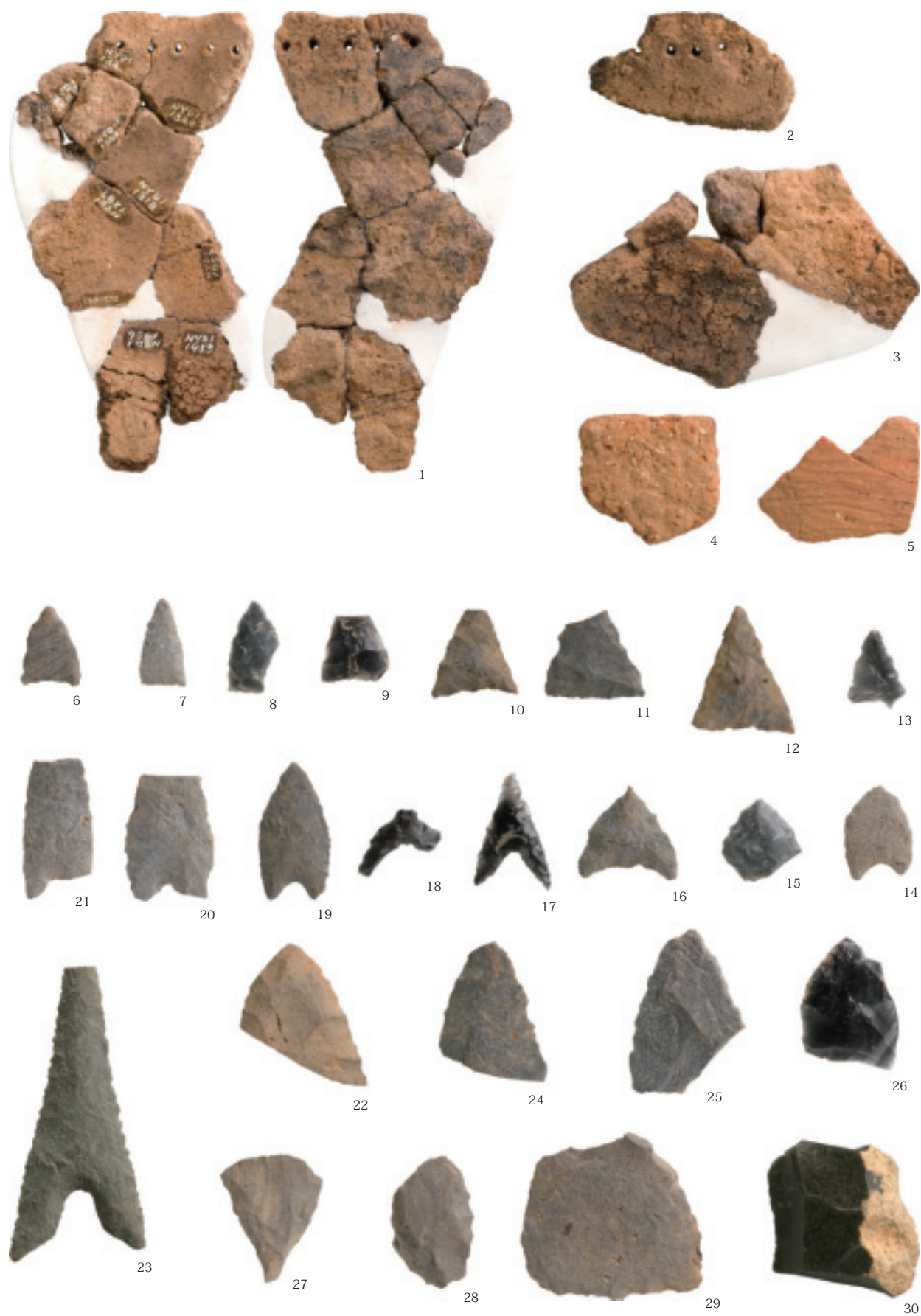
1区 SX1011（北から）



1区 SX1011 完掘状況（北から）



1区 作業風景（西から）



1区 出土遺物 1



1区 出土遺物 2



九郎遺跡遠景（東から） （平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



1区 全景（北東から） （平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



1B区 全景（南から）



1A区 遠景（南西から）



1A区 全景（南西から）



1A区 C-D土層（東から）



1A区 SX1001（南西から）



1A区 SX1001 土器出土状況（南東から）



1A区 SX1004 検出状況（北東から）



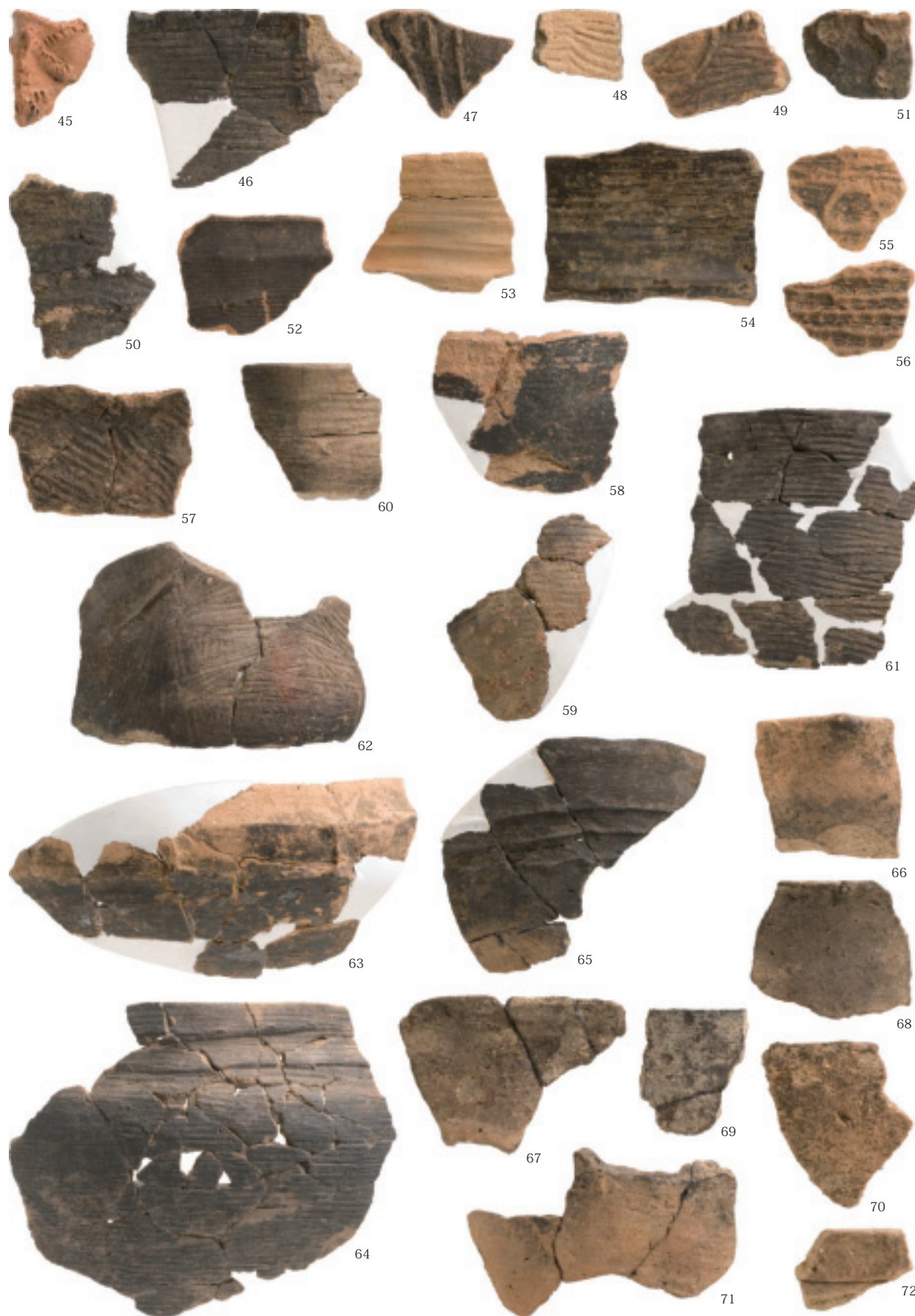
1A区 SX1004 完掘状況（西から）



1A区 SX1005（北東から）



1A 区出土縄文時代の遺物 1



1A 区出土縄文時代の遺物 2



1A 区出土縄文時代の遺物 3



1A 区出土縄文時代の遺物 4



1B区 完掘状況（西から）



1B区 SX1117 検出状況（東から）



1B区 SX1120 検出状況（南から）



1B区 北東部完掘状況（西から）



1B区 A-B土層東部（北から）



1B区 SX1101 検出状況（南西から）



1B区 SX1101 完掘状況（南から）



1B区 SX1104 検出状況（南東から）



1B区 SX1105 検出状況（南東から）



1B区 SX1106（北から）



1B区 SX1107（南西から）



1B 区 SX1108 (北西から)



1B 区 SX1109 (北東から)



1B 区 SX1110 (東から)



1B 区 SX1111 検出状況 (北から)



1B 区 SX1111 下層 (南から)



1B 区 SX1112 下層 (北西から)



1B 区 SX1115 (東から)



1B 区 SX1116 (南東から)



1B区 SX1117 下層（西から）



1B区 SX1118（西から）



1B区 SX1119（西から）



1B区 SX1120 完掘状況（西から）



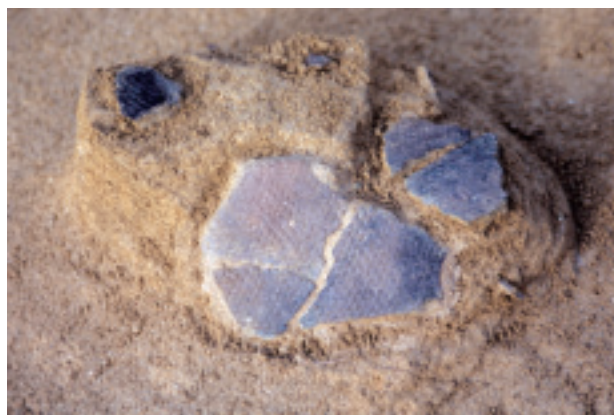
1B北区 完掘状況（北東から）



1B区 土器出土状況



1B区 異形石器出土状況



1B区 押型文土器出土状況



1B 区出土縄文時代の遺物 1



1B 区出土縄文時代の遺物 2



1B 区出土縄文時代の遺物 3



1B 区出土縄文時代の遺物 4



1B 区出土縄文時代の遺物 5



1B 区出土縄文時代の遺物 6



1B 区出土縄文時代の遺物 7



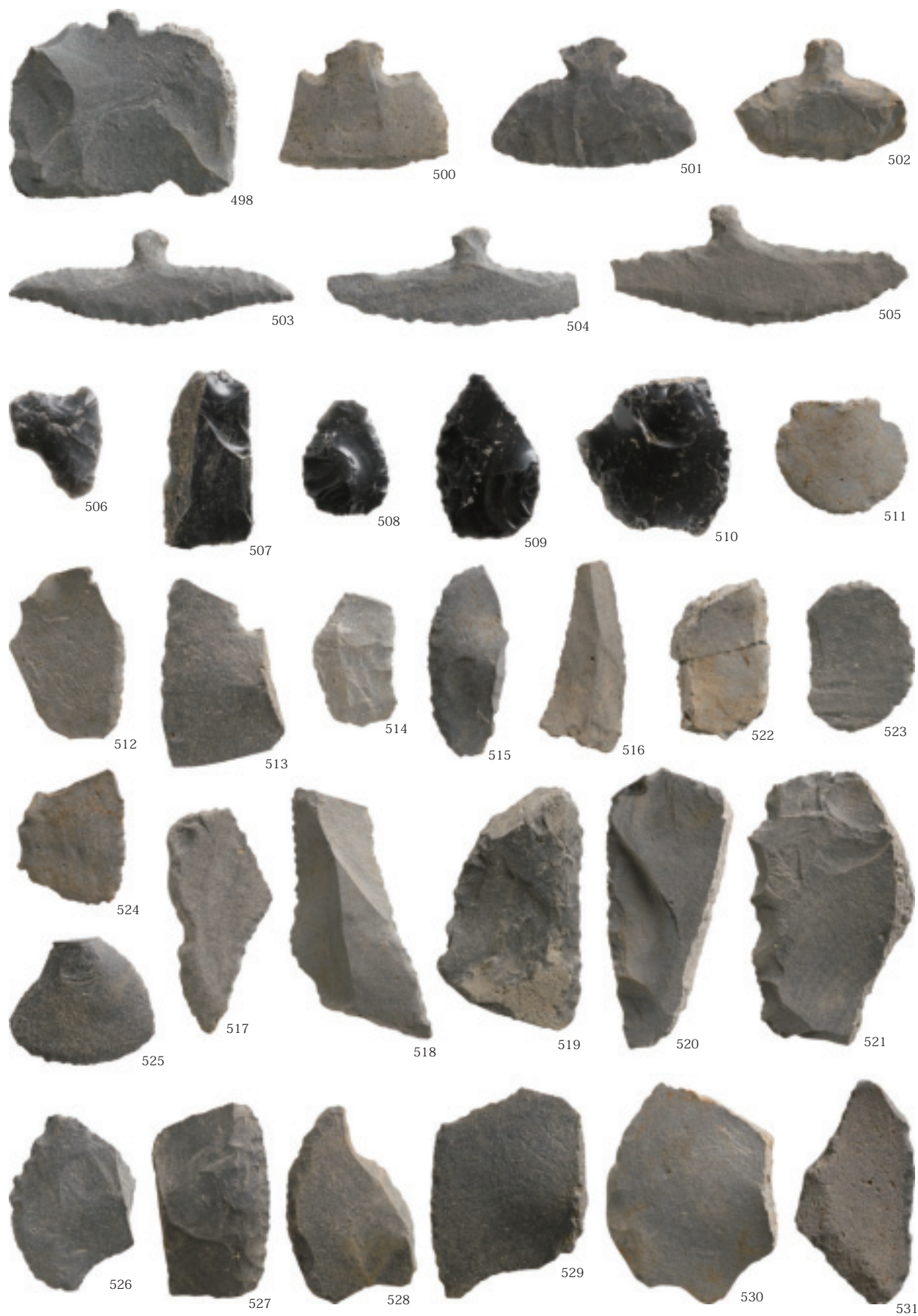
1B 区出土縄文時代の遺物 8



1B 区出土縄文時代の遺物 9



1B 区出土縄文時代の遺物 10



1B 区出土縄文時代の遺物 11



1B 区出土縄文時代の遺物 12



1C区 遠景（北から）



1C区 全景（南西から）



1C区 全景（北から）



1C 区 SX1201 (西から)



1C 区 A - B 土層 (北西から)



1C 区 C - D 土層 (南から)



1C 区出土縄文時代の遺物 1



1C 区出土縄文時代の遺物 2



1C 区出土縄文時代の遺物 3



1C 区出土縄文時代の遺物 4



1C 区出土縄文時代の遺物 5



1C 区出土縄文時代の遺物 6 1 区出土中・近世の遺物



2区 調査前遠景（北から）（平成4年10月撮影 嘉瀬川ダム工事事務所提供）



2区 全景（北東から）



2a・b区 全景（南から）



2a 区 SX2005 (南東から)



2a 区 3 面検出状況 (北から)



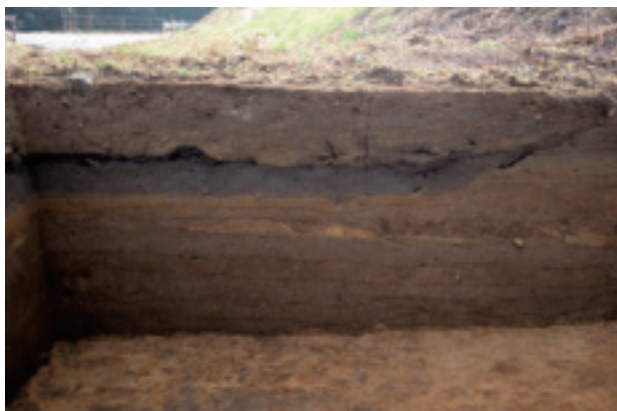
2c 区 SB2002 (北西から)



2a 区 a-b 土層（南西から）



2a 区 e-f 土層（北から）



2a 区 g-h 土層（南西から）



2c 区 全景（北東から）



2c 区 全景（南西から）



2c 区 SX2001（北東から）



2 区 試掘坑 5（南東から）



2 区 試掘坑 6 南東壁面土層（北から）



2区出土遺物 1



2区出土遺物 2



3区 遠景（北東上空から）



3区 SX3008 周辺（真上から）



3区 南東部完掘状況（北東から）



3区 南部完掘状況（北西から）



3区 北部完掘状況（東から）



3 区 SX3008 遺物出土状況（南東から）



3 区 SX3008 完掘状況（西から）



3 区 SX3076（西から）



3区 SX3008 土層 (南から)



3区 SX3008 土層 (南東から)



3区 SD3034 (西から)



3区 SD3037 (東から)



3区 SX3008 内 P3029 (南から)



3区 SX3008 内 P3030 (南から)



3区 SX3076・P3006 土層 (西から)



3区 SB3038・3039 検出状況 (北東から)



3区 SX3001 (北東から)



3区 SX3001 遺物出土状況 (西から)



3区 SX3001 土層 (南西から)



3区 SX3001 漆膜出土状況 (南西から)



3区 SK3005 (東から)



3区 SD3009 (北から)



3区 SX3033 土層 (東から)



3区 SX3033 完掘状況 (南から)



3区 調査風景 (北西から)



3区 押型文土器出土状況



3 区出土遗物 1



3区出土遺物 2



3区出土遺物 3



3区出土遺物 4

報告書抄録

ふりがな	こかくらいせき・にゅうどういせき・くろういせき							
書名	小ヶ倉遺跡・入道遺跡・九郎遺跡							
副書名	嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	5							
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 186 集							
編著者名	渋谷 格・徳永貞紹・パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ							
発行機関	佐賀県教育委員会							
所在地	〒 840-8570 佐賀市城内一丁目 1 番 59 号							
発行年月日	平成 23（西暦 2011）年 3 月 31 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北 緯	東 経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m	
こ かくら 小ヶ倉遺跡	さ が し ふ じ ちやうおおあざおおの 佐賀市富士町 大字大野	412045	0081	33° 24′ 38″ (世界測地系) 33° 24′ 50″	130° 12′ 30″ (世界測地系) 130° 12′ 22″	20080417 ～ 20090301	47,000	嘉瀬川ダム建設に伴う事前調査
にゅうどう 入 道遺跡	さ が し ふ じ ちやうおおあざおおの 佐賀市富士町 大字大野	412045	0017	33° 24′ 52″ (世界測地系) 33° 25′ 4″	130° 12′ 43″ (世界測地系) 130° 12′ 35″	20090417 ～ 20090529	400	
くろう 九郎遺跡	さ が し ふ じ ちやうおおあざぐりなみ 佐賀市富士町 大字栗並	412045	0075	33° 24′ 46″ (世界測地系) 33° 24′ 58″	130° 12′ 0″ (世界測地系) 130° 11′ 52″	20080417 ～ 20100116 1A 区 19950613 ～ 19950913	17,400 1A 区 550	
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
小ヶ倉遺跡	集落	縄文		-		縄文土器 石器		早期前葉の 円筒形刺突文土器 石槍が集中して出土
	集落	古墳		-		土師器 在地系土器		
	集落	近世		-		国産陶磁 銭貨		
入道遺跡	集落	縄文		集石遺構 1		縄文土器 石器		早期の残存状況が 良好な集石遺構
九郎遺跡	集落	縄文		集石遺構 19 土坑 1		縄文土器 石器		早期中葉～前期前半 の狩猟活動の拠点
	集落 墳墓	古代～近世		掘立柱建物 4 柵列 3 土坑墓 1 土坑 石積・石列		在地系土器 防長系瓦質土器 須恵器系陶器 国産陶磁 中国・朝鮮陶磁 鍛冶関連遺物 石製品		鎌倉時代の鍛冶関連 遺構・中国磁器を 6 点副葬する土坑墓

佐賀県文化財調査報告書第 186 集

小ヶ倉遺跡・入道遺跡・九郎遺跡

－嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 5－

平成 23（2011）年 3 月 31 日

発行 佐賀県教育委員会

〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内 1 丁目 1 番 59 号

印刷 鹿島印刷株式会社

〒 849-1321 佐賀県鹿島市古枝甲 249 番地 3

